



たきぐち学^{がく}

議会改革 前進！ ～ 議員公用車13台廃止へ

議会改革検討委員会で議論

都議会第20期が始まり、これまで非公開だった「議会のあり方検討委員会」を原則公開の「議会改革検討委員会」と改め、議論が進められてきました。この結果、下記の項目が決定しました。

- ・ 政務活動費の飲食、新年会費への支出を禁止
- ・ 議員公用車の大幅な削減
- ・ 常任委員会のインターネット中継
- ・ 議会のペーパーレス化と全面禁煙

政務活動費とは？

政務活動費は、議員が行う調査研究、広報活動などの経費の一部として会派に交付されるもので、全国の地方議会では架空計上など問題となるケースが相次いでいます。

都議会では、その使い方を比較的厳しくルール設定してきましたが、都民ファーストの会東京都議団が自主規制してきた「飲食をともなう新年会の会費への支出」などを、議会全体として禁止することを決定しました。

議員公用車を削減

東京都議会には22台の議員公用車があり、昨年度、延べ日数で2,700日以上使用されました。関東6県議会の

平均台数約4.2台と比べても多く、「公務の遂行」という本来の用途と実態が乖離している可能性も指摘されてきました。

各会派で意見が分かれたため、全廃とはなりませんでしたが、議長・副議長など公務の必要最低限の台数を残して13台削減できたことは過去にない改革です。さらに、使用基準を厳格化するとともに、使用状況を定期的にホームページ上で公開することになりました。

都民に身近な都議会へ

近年、都政・都議会が注目されるようになりましたが、どのような課題が議論されているのか、まだまだ伝わっていないのではないかと思います。

今回、常任委員会のインターネット中継が試験的に導入されることになりました。15の委員会室があり、中継設備の整備コストも検証する必要がありますが、平成30年度上半期の総務委員会から開始することになりました。「都民に身近な都議会」の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

また、年間43万枚(本会議)にのぼる紙資料を電子化する「ペーパーレス化」を順次実施するとともに、これまで徹底されていなかった「議会棟の全面禁煙」(4/1より)を開始します。

プロフィール

日本大学法学部卒業。水産商社、市場調査会社に勤務の後、衆議院議員公設秘書、荒川区議会議員を経て、2009年東京都議会議員選挙に立候補し初当選。4年間の浪人の後、2017年2期目の当選。
現在・都民ファーストの会東京都議団 副政務調査会長・都市整備委員会委員長

■ご意見・ご要望をお寄せください

たきぐち学事務所 東京都荒川区東日暮里4-20-7

TEL 03(6382)8866 FAX 03(6382)8867

E-mail : info@t-gaku.com

たきぐち学

検索

新年度予算(案)が発表されました

～第一回定例会 始まる～

事業評価により約 870 億円の財源を確保

第一回定例会が開会（2/21～3/29）。これに先立ち、東京都は平成 30（2018）年度予算（案）を発表しました。一般会計は 2 年ぶり増加の 7 兆 460 億円。都では約 5,000 の事業を執行していますが、新たに客観的指標（エビデンス・ベース）に基づく評価を導入するなど、「事業評価」に取り組んだ結果、前年度よりも 150 億円多い約 870 億円の財源を確保しました。新規事業は過去最高の 407 件で、都民提案（9 事業）、職員提案（15 件）による事業が予算化されたことも大きな特徴です。小池知事は、今回の予算策定にあたり「待機児童対策費や超高齢化社会対策費の増額など“人に着目した予算”」と述べています。詳細は、東京都財務局ホームページで見ることができます。

東京都 平成 30 年度予算 [検索](#)

新年度予算（案）は、定例会の会期中に行われる「予算特別委員会」において議論します。

都市整備局一般会計は約 1,340 億円

委員長を拝命している都市整備委員会は、主にハード面での都市づくりを担っています。昨年末、都民ファーストの会東京都議団として「鉄道駅での車いすやベビーカーなどでの円滑な移動を可能にするためのエレベーター設置やホームドアの整備、多機能トイレの設置に取り組む鉄道事業者への支援」や「空き家・空き店舗の多様な活用を促す支援」をはじめとする予算要望を行い、新年度予算案に反映されました。

都市整備局に関連する主な新年度予算は以下のとおりです。

29 年度→30 年度

- バリアフリー化の推進 169 億円→190 億円
 - 公共施設のトイレの様式化 2 億円→7 億円
 - 鉄道駅洋式トイレ等整備促進事業 0.1 億円→0.9 億円
 - ホームドア等整備促進事業 9 億円→14 億円
 - 鉄道駅エレベーター等整備事業 3 億円→5 億円
- 空き家の活用 1 億 9,100 万円→2 億 7,000 万円
- ライフ・ワーク・バランスの充実 35 億円→115 億円
 - 広域交通の快適な利用に関する取組の推進（時差 Biz）0.6 億円→1 億円
- 公共交通の充実と次世代交通システム等の導入 23 億円→34 億円
 - 都心と臨海副都心とを結ぶBRT整備事業 0.2 億円→5 億円
 - バス走行環境改善システム整備事業（GPS等導入補助）0.2 億円→1 億円

このほか、住宅耐震化の助成制度の対象を初めて整備地域外にも拡大するとともに、木造密集地域の不燃化・耐震化の促進など防災まちづくりに関する重要課題は、さらに前へ進めて参ります。

都市整備委員会

（定数14名 現員14名）

委員長	たきぐち学（都）
副委員長	白石たみお（共） 馬場信男（都）
理事	小林健二（公） 森澤恭子（都） 神林茂（自）
委員	山口拓（民） 後藤なみ（都） 滝田やすひこ（都） 森口つかさ（都） 星見てい子（共） 木下ふみこ（都） 藤井一（公） 秋田一郎（自）



委員会に臨む たきぐち学委員長



「出前都議会報告」に伺います！

町会や会合などで、都政・都議会の話を聞きたい！というご要望があれば、荒川区内のどこへでも駆けつけます。

FAX 03-6382-8867

メール info@t-gaku.com

お気軽にお問い合わせください。



H29/12/17

町屋文化センターにて都政報告会～タウンミーティング～を行いました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！
今後も定期的開催していきます。